



県内でも、4月から6月までに妊婦の新型コロナウイルス感染者が、81名報告されています。(R3.6.21 沖縄タイムス)
感染経路の多くは、**家族内感染**です。家庭内でも感染予防に努めましょう。

- ①こまめな手洗い・うがい
- ②部屋の換気
- ③日頃から健康管理
- ④家族以外と会食はしない

妊産婦さんのコロナワクチン接種について

妊婦さんにおいても、コロナワクチンの接種が可能です。希望される妊婦さんは、**必ず**かかりつけの産婦人科の主治医に相談し、**接種の確認**を取って下さい。また、接種前後1週間以内の妊婦健診が勧められている為、事前に医療機関と妊婦健診の日程調整を行ってください。

<p>妊娠中</p> 	<p>相談の上</p>  	<p>相談の上可能。 ただし妊娠12週までは控える。 妊娠中は感染で重症化のリスクがあり、接種を推奨。 不安な場合はかかりつけ医に相談を。 お腹の中の赤ちゃんに悪い影響が出たり将来妊娠しにくくなるとは考えられておらず、海外からもそのような報告はない。</p>
<p>授乳中</p> 		<p>現時点で特段の懸念が認められているわけではなく 海外でも接種の対象。 不安な場合はかかりつけ医に相談を。</p>

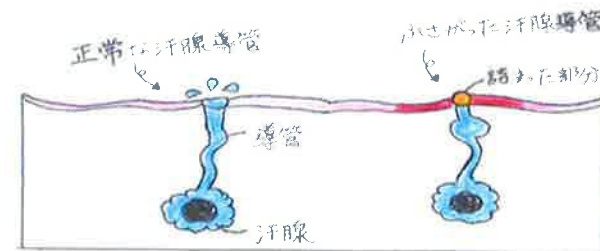
☆妊娠中・授乳中にmRNA ワクチン(新型コロナワクチン)を受けた方の臍帯血(胎児の血液と同じ)や母乳中にも新型コロナウイルスに対する抗体があると確認されており、こうした抗体がお母さん・新生児・授乳中の赤ちゃんへの感染や重症化から守る効果があると期待されています。(厚生労働省 Q&A より)

☆伊江村では、8月7日(土)・8月8日(日)に集団接種を予定しています。
ご自宅に届いている青い封筒を確認して下さい。

夏に多い“あせも” 汗が出にくくなるのが原因!

詰まる原因:

- ①汗が乾燥したことによるもの
- ②間違った保湿方法→ベビーパウダーやワセリン系の保湿剤は汗腺を詰まらせやすい。



❁ 予防ポイント ❁

1. 服装で調節
 - 体温が高いので、大人より一枚少ない服装で、汗をかきやすい首回りなどは覆わないように注意。
2. 皮膚を清潔にして保湿する
 - 汗をかいたらこまめにシャワーを浴びて汗を流しましょう。
 - 皮膚バリアが荒れて乾燥しないよう、しっかりと保湿しましょう。(ローションタイプがお勧めです☆)
3. 温度・湿度を調整する
 - エアコンや扇風機、除湿器を使用しましょう。
 - ・室温 25℃前後程度
 - ・湿度 50-60%程度



～こんな時は受診しましょう～

- 保湿しても良くならない
- 痒そうにしている
- じくじくした湿疹が出る

※伊江村限定のオンライン相談の活用もおすすめです☆

☆赤ちゃんは、体温調整するためにたくさん汗をかきます。
熱くなり過ぎた体温を下げたり、また余分な老廃物も出してくれます。
汗がお子さんの味方になるようにしっかり対策してあげてください♪